

平成28年第4回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

平成28年11月30日開議

平成28年第4回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成28年11月30日（水） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 佐藤隆夫，委員 川島陽子，委員 佐山富夫，委員 佐藤茂廣
4. 欠席委員 委員 船迫邦則
5. 説明のため出席した者
教育次長兼仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦
主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良，仙南芸術文化センター次長 玉渕博之
6. 開 会 午前10時

7. 平成28年第3回教育委員会定例会会議録の承認について

佐藤教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
佐藤教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

佐藤教育長	私のほか、佐藤茂廣委員をお願いいたします。
佐藤(茂)委員	はい。

9. 諸報告

報告第1号 平成28年10月から同年11月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹よりご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉渕次長よりご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐藤(茂)委員	照明・音響ワークショップとありますが、これはどんな人が対象ですか。
玉 渕 次 長	一般の方々ですね。
佐藤(茂)委員	我が蔵王町でもございんホールで照明をやっていますが、プロの業者に委託してやっております。このワークショップは一般の方だけの参加なんですか。
玉 渕 次 長	プロフェッショナルの機材を使うわけなんですけど、まずは音響や照明のイロハの部分を知っていただくというのが趣旨で、これをやったからといってすべて扱いこなせるかということそうではないんですけど、例えばライブを自分たちでやりたいといったときに、機材の使い方も知っておかなければいけない、そんな方々に対応できるのがこのワークショップです。ホールの演劇公演をお任せできるようなレベルではないんですけど、使い方やノウハウは共通している部分があるので、そういう部分を知っていただくという理由を含めた取り組みです。
佐藤(茂)委員	行政職員もイロハを勉強するのにいいのかなと思いました。
佐 山 委 員	対象年齢の制限はあるんですか。
玉 渕 次 長	通常設けてないですね。ただ、夜の時間なので、おのずと高校生以上という感じになると思います。

佐藤(茂)委員	これからも継続してやっていくんですか。
玉 渕 次 長	はい。今は二年に一度行っています。ホールも異動があるので、異動した職員にも基礎の基礎を知ってもらうということで一緒に参加してもらっています。
	<質疑なし>

10. 議事

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の辞職の同意について

川島陽子委員に関わる案件のため、川島陽子委員にはご退席願ひ、白石市教育委員会教育委員の任期満了に伴い辞職する旨を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条の規定に基づき同意を求めた。任期は平成28年7月23日から平成28年12月13日までである。

(質 疑)	<質疑なし>
佐藤教育長	ただいま提出されました、教育委員の辞職の同意の案件は、これに同意することと決しましたので、お伝えいたします。 それでは委員退任のご挨拶をお願いします。
川 島 委 員	まったく情報ゼロの状態です。仙南広域の教育委員会に参加させていただいたので、最初は、こういうことをしてるんだ、こういうのもあるんだって、新たに知ることが多くて、自分の中でこういう場所なんだと噛み砕くまでに一年近くかかったんじゃないかなと思います。自治体単位でやっていることの間隙を埋める仕事をこんなにしてきていたんだというのを、またえこを中心にした文化活動がこんなにあっただなんていうのを全然知らず、ここにきて初めて知りました。しかも、ものすごい量の行事を年間を通してやってらっしゃるといっても、白石にいたのでは分からないことだったなと思いました。これを、ここにいる人たちだけが知っているというのはもったいないなと思います。こういうのをこれぐらいやっているんですよというのを、例えば学校現場や町の団体に知らせる方法があったらいいと思いました。白石はここから離れているために、えこで行われているイベントを意外に知らない人が多いので、誰も宣伝してこなかったということなんだなと思っています。私たちが教育委員会で得られるような、こんなにすごいことをやっているんだということが、皆さんに伝わればいいのになと思いました。そうすると子どもを持つお母さんたちでも、ここまで行ってみようっていうふうになって、もっと広がると思いました。こういう世界があることを初めて知りました。この中に入って私が何かやれたかと言えばゼロに等しいです。ただ、変わるんだって分かった人が一人増えたというくらいのもんです。ここで仕入れたことや、ぜひ伝えたいなと思ったことは、教育委員会などで時々報告しておりました。次々といろんな問題が出てくるかと思うんですが、今後ますます発展していきますようにお祈りしております。皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。

議案第2号 平成29年度仙南地域広域行政事務組合視聴覚教育事業計画(案)・仙南広域圏の振興発展に資する事業計画(案)について

黒澤主幹より別紙資料1 ご説明申し上げます。

佐藤教育長	膨大な視聴覚教材が眠っていると思うんですが、スライドはほとんどデジタル化しているんですか。
黒 澤 主 幹	スライドはほとんど終わっておりますが、発表会に出されたものでまだしていないものがございますので、そちらの方を進めております。

佐藤教育長	発表会で入選すれば、すぐにデジタル化するわけですね。
黒澤主幹	紙しばいはどうしても読み手の方がいてやるのが基本だと思うのですが、それをデジタル化したいと考えています。制作者からすると本来のやり方でないという話もあると思うんですが。
佐藤教育長	プロのナレーションを頼んだり、町の要望で教材化したりで対応できるように。
佐藤教育長	ふるさと教材フェアって書いてありますが、委員の皆さんからご意見ありませんか。「フェア」ってどういう意味ですか。
黒澤主幹	発表会とか展示会とかそういうところで「フェア」が使われるようです。表彰が絡んでくるので「コンテスト」や「コンクール」がいいのかなということで、これまでは「コンクール」を使っていたんですが、「コンクール」だとなかなか出しにくいということで「発表会」に直した経緯があるのですが。
佐藤教育長	社会教育等主管課長会議の中に、AZ9の子どもたちの演技や公演しているところを見せる場面はありますか。
黒澤主幹	決算のところで事業報告がございますので、いまご覧いただいたように短くまとめたものを見せることはできるかなと思うのですが。
佐藤教育長	将来AZ9が生き残れるかどうかを含めて、一般会計の中から出す必要があるという思いを持っていただくように。こういうものは残さなくちゃいけないと思うような働きかけをしていただければと思います。
佐山委員	広報活動関係なんですけど、広報関係は紙媒体だけですか。
黒澤主幹	紙とホームページでやっております。
佐山委員	例えばラジオやテレビに出せないかなと思ったんです。今、地方自治体なんかもずいぶん宣伝してますよね。紙媒体は広めるのに限界があるのではないかなと思うので、東北放送のコマーシャル30秒くらいでも構わないので、あのように入力いただければ、かなり違うと思うんですよ。車の中でちょっと耳に挟むだけでもいいから。それがきっかけになって紙媒体をもらいに来るとあると思うので。ラジオあたりで紹介していただくことが効果的ではないかなと思うので、ご検討いただければと。もちろんお金関係もあるでしょうが。
黒澤主幹	アクトーズ関係は毎年、ミヤギテレビさんで夕方やっている情報番組に出させていただいて、PRとかはしているんですが。
佐藤教育長	もうちょっと何とかならないかなと。我々も知らないところがあるんですよ。流されて耳に入れていただくところに興味関心が向けられるのではないかなと思うので、検討していただきたいなと。
川島委員	白石とか大河原地区に各放送局の契約している記者さんがいて、そこにこまめに連絡しておく、気が向いたときに来てくれるんですよ。白石も電気屋さんなんですけど契約している方がいて、時期になるとそこに行って撮ってもらっているようです。そうすると流してくれることもあるので、こまめに連絡だけしておく、少しはいいかなと思います。
佐山委員	ホームページよりも今はスマホ関係の方がよっぽど拡散力が強いですからね。
黒澤主幹	フェイスブックで情報は発信しています。
佐山委員	若い層を開発するにはそっちの方が有効かもしれないですね。

教育次長	メディア媒体を使うとなるとけっこう予算がかかってしまうのでなかなか難しいですが、パブリシティについては、可能な限り情報を流して取り上げていただくようにしたいと思っております。パブリシティについても、通常の業務ですとほぼ取り上げられないのですが、特徴的なものを行ったときは取り上げていただけることもあるので、なるべくそのようなものについては、パブリシティに情報をたくさん流すような方法を取りたいと思っております。今、言ったSNSですが、フェイスブックだったりツイッターも、可能なものについてはいろいろ考えていきたいと思っております。
佐山委員	参考までに、東北放送で朝の通勤時間帯に15秒間流すとしたらどのくらいかかるのか調べてもらえれば。
教育次長	正確に覚えてないですが、5、6万はかかります。
佐山委員	一日6万ですか。
教育次長	一回6万です。そのため、予算的にはかなり厳しいと思っております。
佐藤教育長	広域でやったことは出るんですが、やる前にこういうことをしますよっていうのがなかなか。大きなことをやったあとは公表されるんですが、行きたかったなっていう人にとっては後の祭りです。
佐山委員	仙南広域はFMコミュニティラジオがないでしょ。
佐藤教育長	今お話にもありましたが、投げ込みが必要ですね。こういうことをするというのを、一番有効な人に伝えておくと、他の取材が何もないうちにきてくれることがあるので、そういうのも検討してもらえればと思います。
	<質疑なし>

議案第3号 平成29年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター事業計画(案)について

水戸教育次長より別紙資料2ご説明申し上げます。

(質 疑)	
川島委員	えぞこボランティアスタッフっていうのはいわゆる普通のボランティアですか。
教育次長	はい、そうです。
川島委員	いろんなイベントのときのお手伝いをしているんですか。
教育次長	ボランティアはいま二つに分かれておりまして、一つが表方を担当するボランティアスタッフで、もう一つが託児ボランティアということで、二つのグループで活動しております。それぞれえぞこホールの主催事業のときに表方、あるいは託児を担当しています。そのほかに自主活動として託児ボランティアは、えぞこひろばという月に一回の親子のふれあいの場の運営をしています。
川島委員	このボランティアさんはけっこうたくさんいらっしゃるようですが。
教育次長	表方のボランティアが15名くらいです。託児が10名くらいで活動しております。
佐藤(茂)委員	アウトリーチ活動というのは、子どもからも学校側からも好評だと聞いております。蔵王町も独自にやっていますが、えぞこホールでの申し込み状況と倍率が高いものなのか、それとも申し込むとほとんど実現している状況なのか。

教育次長 佐藤(茂)委員	希望通りにならない場合もありますが、極力希望のあった学校には行けるよう にうまく調整をしながら進めておりますので、ほぼ実施している状況です。 ぜひ次年度も続けていただければと思います。
佐藤教育長	えずこホールを中心に大河原町が中核となって2市7町の芸術文化活動を。その 際も東京から来ただけでなくて住民参加型の創造的な活動が非常に育ってきてい ると。そしてそれが定期的に練習をし、自分たちで文化を作っていくという。こ れは全国に誇れるものになってきているのではないかと思うんですね。二十年か けてここまで来たなど。さらに発展して多くの人材が育ってほしいなと思 っております。方向は間違っていなかったということで、この目標は見事に今ま での伝統とか、これからやろうとしていることを指し示していると思いました。
佐藤教育長	仙台市から招聘があったということですが、AZ9の活動とこの事業計画全体に も関わるんですが、この地域の中央だとか仙台に行って発表する、私たちの誇り とするものを見てくださという意味ではこの事業も大きな力になっているなど 思うんですが、これは初めてですか。
教育次長	初めてです。杜の都の演劇祭というものが初めからあって、その一端と聞してい るんですけど、その企画の中で呼ばれました。
佐藤教育長	我が町だけでなく、県北からも来ているのでしょうか。
教育次長	当初は予定されていたようですが、今のところジュニア・アクターズだけになっ たようです。招聘はジュニア・アクターズだけということです。
佐藤教育長	仙北の方でもこういうアクターズのような活動をしているところがあると聞いて おりますが。登米祝祭劇場など。
佐藤次長	七ヶ浜の国際村にもありますね。
佐藤教育長	自治力が出てきたので認められているのかな。堂々と仙台で発表すれば非常に 自信になったり誇りになったりするということがあります。
佐藤教育長	いろんな鑑賞事業がありますが、各市町は呼びかけしても遠くてなかなか来るの がづらいという場合があると思うんですね。特に丸森町なんかは片道でも時間が かかりますので、ちょっと足を伸ばすという訳にはいかないのです。それで生涯学 習課がバス自体を用意して、町民に呼びかけるんですね。そうすると入場料とプ ラスαくらいで済むのかなと。バス代はタダですから。そうすれば人数は増える のではないかなと思います。呼びかけをする場合に、主管課長会議もありますか ら、丸森の例などもお話しして、他の市町でも取り組んでいただければと思いま した。限られた人たちだけのものよりも、広域に2市7町の人たちが今年の冬は 何があるのかなと楽しみにしたり、バスを用意して行くことが日常的になったら いいのかなと思います。
	<質疑なし>

1.1. 次回教育委員会定例会の日程について

佐藤教育長	平成29年3月22日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	-----------------------------------

12. その他

- 平成28年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算（第2号）について
水戸教育次長より別紙資料4にてご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

- 平成28年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算について
水戸教育次長より別紙資料4にてご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

- 平成29年度仙南地域広域行政事務組合教育費当初予算（案）について
水戸教育次長より別紙資料5にてご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

- 平成29年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算（案）について
水戸教育次長より別紙資料5にてご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

- 第39回仙南地区自作視聴覚教材発表会について
黒澤主幹よりご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

- AZ9ジュニア・アクターズ第24回公演について
黒澤主幹よりご説明申し上げます。

(質 疑) < 質 疑 な し >

13. 閉 会 午後12時03分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成28年11月30日

教 育 長

署名委員